



男の老後力

<序章> 老いは男を哲学者にする

1. 小事を的確にこなし、大事に正面から取り組む
2. 「ライフワーク」にも締め切りを
3. 定年後、孤独を感じる時 → <第2章> 「孤独」を感じる人へ
4. 年金生活への不安 → <第1章> 「生活不安」を感じる人へ
5. 病気と死への不安

<第1章> 「生活不安」を感じる人へ

1. 働き続ける → <第5章> 「仕事をしたい」と感じる人へ
2. 生活をダウサイジングする
3. 寄生(パラサイト)する
4. 不安のない不安がある

<第2章> 「孤独」を感じる人へ

1. 仲間を求める
2. 孤独は楽しい
3. いまの「老後」は一人でも楽しい
4. 孤独と孤立

<第3章> 「学びたい」と感じる人へ

1. 学ぶ場所は無数にある
2. 晩学はとくに楽しい
3. 学んで賢くなるのは難しい
4. 学ぶ人と学ばない人

<第4章> 「愛したい」と感じる人へ

1. 「愛」は遠くなるか？
2. 愛されてこそその愛？
3. 「愛」がなくては生きる価値はない
4. 愛と愛欲

<第5章> 「仕事をしたい」と感じる人へ

1. 老後を生きるもっとも簡便な方法
2. 仕事は楽しい
3. 仕事のあとに楽しみがやってくる
4. 定年後の仕事は浪費だと思え

<第6章> 「老後」とは何か？

1. 老後は「仕事」を辞めたときから始まる
2. 男たちの老後、女たちの老後
3. 老後は先の見えない上りの人生
4. 老後には「老後の老後」がある

<第7章> 人間というのは、男というのは

1. 人間は欲望の塊だ
2. 人間は自己愛の塊だ
3. 人間はもろい存在だ
4. 人間はこけつまろびつ生きようとする存在だ

<あとがき>

* 若い時に戻りたくない

- ⇒ 今ほどの幸運に二度出会うなどとは想像できかねる
- ⇒ 自分なりの歩み方がしっくりしてきた(自分なりの哲学)